

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和7年度 第2号 R7.5.16(金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「エンジン始動」

新年度が始まって1か月が経ち、生徒たちはクラスにも馴染んできました。そして様々なことにチャレンジしています。

授業参観でもご覧いただけたかもしれませんが、特に今3年生は卒業後の具体的な進路決定に向き合っており、積極的に手をあげて発言している生徒が多くみられます。

また、最近変化を感じるのは体育の授業です。どの学年も準備体操からしっかり声を出し、キビキビと行動できている様子が素晴らしいです。

クラスの係活動や委員会活動も動き出しました。6月4～5日の1年生宿泊学習(近江八幡)、6月8日～10日の3年生修学旅行(愛知岐阜方面)、6月12日の2年生万博に向けて準備も進んでいるようです。中間テストが終わればその取り組みも佳境に入ります。主体的な生徒の動きや、それを通した学びに期待しています。

「日本語指導」

本校では今年度から日本語指導の教員を配置いたしました。

現在、全国的に多くの方が外国から転入されていますが、藤井寺市も例外ではありません。家族と一緒に転入してきた小中学生が感じる言葉や文化の違いへの不安を解消し、安心して学校生活が送れるように、担当教員を中心に全教職員でサポートしています。また、本校の生徒には柔軟に多様性を受け入れる文化があり、それにも支えられています。

「想像力」

年度当初の生徒たちは、新しい環境に慣れるために様子を見ながら、相当のエネルギーを使っています。そしてちょうど今頃、少し疲れ気味になり、6月頃には人間関係のトラブルが増える傾向があります。

日本では学校教育という枠組みで集団生活を学ぶしくみになっています。異なる考えを持つ人とのように接していけばうまくいくのかを考え、試行錯誤を繰り返し、軌道修正しながら、社会に出る準備を整えていきます。

この時に必要なのは「想像力」。「いま相手が何を考えているのか」や、「自分がこの行動をとれば、この先どういう結果になるだろうか」などを想像する力は経験によって獲得できるものです。本校では様々な経験を積み、たくさんの成功体験をさせ、自己有用感を育むと同時に、たとえ失敗しても、そこから学べる生徒を育てたいと考えています。よく「私は想像力がないんだよね」と諦めている人がいますが、簡単に答えを聞かないで、まず自分の頭で考えてみるのが「想像力」を育むコツです。特に人の心を読むことは大人になっても難しく、この「想像力」はコミュニケーションに欠かせません。日々の生活の中で考える機会を増やし、少しずつ成長できるように支援していきたいと思っています。

4月からホームページが新しくなっています

ホームページには、学校での行事や生徒の様子が掲載されています。随時更新していきますので、ご覧ください。

<https://daisan-jh.edumap.jp/>

